

- 1990. 被子植物の花粉と系統. 日本植物分類学会会報 8: 39-54.
- 高橋正道 1993. 花粉外膜のパターン形成と層構造の相同性 (総説). 植物分類地理 44: 67-73.
- 1994. 花粉形態—ミクロな形質の多様性. 岡田博, 植田邦彦, 角野康郎 (編): 植物の自然史. pp. 198-210. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- 徳永重元 1963. 花粉のゆくえ. 218 pp. 実業公報社, 東京.
- 1972. 花粉分析法入門. 185 pp. ラテイス, 東京.
- 塚田松雄 1974. 花粉は語る. 231 pp. 岩波書店, 東京.
- 上野実朗 1971. 花粉学用語選定試案. 日本花粉学会会誌 (7): 1-10.
- 1978. 花粉学研究. 210+65 pp. 風間書房, 東京.
- 1979. 花粉百話. 風間書房, 東京.
- 山田常雄, 前川文夫, 江上不二夫, 八杉竜一 1960. 岩波生物学辞典第1版. 岩波書店, 東京.
- , ———, ———, ———, 小関治男, 古谷雅樹, 日高敏隆 1977. 岩波生物学辞典第2版. 1654 pp. 岩波書店, 東京.
- , ———, ———, ———, ———, ———, ——— 1983. 岩波生物学辞典第3版. 1404+349 pp. 岩波書店, 東京.
- (北海道大学農学部附属植物園)

絶滅を危惧される北海道産カラフトモメンヅルの現状 (松井 洋^a, 林 廣志^b)

Hiroshi MATSUI^a and Hiroshi HAYASHI^b: *Astragalus schelichovii* Turczaninow (Leguminosae), a Vulnerable Species in Hokkaido, Japan

カラフトモメンヅル *Astragalus schelichovii* Turczaninow (Fig. 1) は, 東シベリア, オホーツ

ク海沿岸地方, アムール, カムチャツカ, サハリン, 中国東北部, 朝鮮北部および日本に生育する



Fig. 1. *Astragalus schelichovii* Turcz., Nogami-bashi, Engaru (photo by H. Matsui, 17 Jun. 1990).

(Gontscharov 1946, 村田1984). 日本での分布は栃木県中禅寺湖畔と北海道に限られており、隔離分布している遺存種といえる. 『我が国における保護上重要な植物種の現状』(1989)では、栃木県日光中禅寺湖畔では、観光地化による自生地の破壊によって絶滅したと指摘されており、北海道では絶滅の危険がある危急種にリストされている. 日本にカラフトモメンヅルが分布することは、1979年に古瀬 義が栃木県日光中禅寺湖畔千手ヶ浜で採集した標本をきっかけとして、村田(1984)が初めて報告した. しかし、わが国の図鑑等にはまだ詳細な記載がなく、北海道における分布の現状も部分的に知られるだけであった(伊藤他1994, 松井, 林1991, 1994). 著者らがカラフトモメンヅルを初めて採集したのは、網走支庁遠軽町野上橋付近の湧別川流域の河原である(松井, 林1991). この植物が絶滅の危険がある危急種にリストされていることから、以来北海道の分布域に関心を持ち調査を続けてきた.

カラフトモメンヅルの一般的な生育地は礫質から砂礫質の河原 (Fig. 2) であり、十勝支庁音更

町駒場橋から士幌町西上橋にかける十勝川支流の音更川流域の河原、上川支庁名寄市名寄大橋から恵名大橋にかける天塩川流域の河原においてもその生育を確認した.

一方、網走支庁北見市美里クトンニコロ沢では他の生育地と異なり、国有林の林道沿いと斜面の日当たりのいい崩壊地に生育している. この個体は湧別川産、音更川産、天塩川産と比較して、草丈・花・莢果・萼筒の歯裂は大形ではあるが、上述の形態的特徴からカラフトモメンヅルであると同定した.

さらに、北海道でカラフトモメンヅルの採集記録を調査するために、道内の植物標本庫の標本調査をした. その結果、北海道開拓記念館、北海道大学農学部附属植物園、北網圏北見文化センター博物館部門の3カ所で、カラフトモメンヅルの標本を確認した.

以上の結果に基づき、京都大学の標本を含め、現在までに確認できた標本資料を Table 1 にまとめた. Fig. 3 はそれに基づいた分布図である. 分布域は北海道東部・北部で、天塩川水系、湧別川



Fig. 2. *Astragalus schelichovii* Turcz., Yubetsu-gawa Dam, Engaru (photo by H. Matsui, 9 Sept. 1991).

Table 1. List of herbarium specimens and localities of *Astragalus schelichovii* Turcz.

No.* Locality	Date	Specimen (Herbarium**)
1. Kamikawa Nakagawa-cho	Jul. 1920	S. Sugawara s. n. (KYO)
2. Abashiri Barou Yubetsu-cho	24 Jul. 1977	H. Kato s. n. (KYO)
3. Sorachi Shumarinai Horokanai-cho	6 Aug. 1965	T. Matsuki 1200 (HMH); 05402 (KRM)
4. Abashiri Kamisato Tsubetsu-cho	12 Jul. 1971	T. Matsuki 01198 (HMH); 05406, 05407 (KRM)
Kamisato Tsubetsu-cho	5 Jun. 1972	T. Matsuki 1201, 1202, 1203 (HMH) 05408, 05409, 05410, 05411 (KRM)
5. Abashiri Sakaeura Tokoro-cho	31 Jul. 1977	T. Matsuki 05412 (KRM)
6. Abashiri Forest Okhotsk Tanno-cho	11 Jun. 1984	S. Matsumura 13998 (KRM)
Forest Okhotsk Tanno-cho	2 Jul. 1984	T. Matsuki 05413, 05414 (KRM)
Tanno-cho	13 Jun. 1986	T. Matsuki 05415, 05416, 05417 (KRM)
7. Abashiri Misato Kitami-shi	23 May 1988	T. Matsuki 05418, 05419 (KRM)
Misato Kitami-shi	3 Jul. 1994	H. Matsui & H. Hayashi 981 (KYO); 9812 (TUS)
8. Abashiri Yobito Abashiri-shi	23 Jun. 1990	T. Matsuki 05420, 05421 (KRM)
9. Abashiri Nogami-bashi Engaru-cho	6 Aug. 1989	H. Matsui & H. Hayashi 001 (HBG)
Nogami-bashi Engaru-cho	17 Jun. 1990	H. Matsui & H. Hayashi 101 (KYO); 1011 (TUS)
Nogami-bashi Engaru-cho	10 Sep. 1990	H. Matsui & H. Hayashi 446 (KYO); 4465 (TUS)
Iwane-ohashi Engaru-cho	2 Jul. 1994	H. Matsui & H. Hayashi 960 (KYO); 9683 (TUS)
10. Tokachi Komaba-bashi Otofuke-cho	3 Aug. 1991	H. Matsui & H. Hayashi 4600 (TUS)
11. Kamikawa Nayoro-ohashi Nayoro-shi	2 Jul. 1993	H. Matsui 722 (KYO); 7221 (TUS)
Nayoro-ohashi Nayoro-shi	9 Jul. 1994	H. Matsui 950 (KYO); 9522, 9523, 9524 (TUS)

* The numbers correspond to the locality numbers in Fig. 3.

** HMH: Historical Museum of Hokkaido. KRM: The Kitami Region Museum of Science, History and Art. HBG: Botanic garden, Faculty of Agriculture, Hokkaido University.

水系, 常呂川水系, 網走川水系, 十勝川水系の広い水系に亘っているが, 生育地は限られている。

カラフトモメンツルの本来の生育環境は河原の礫地ないし砂礫地であると考えられるが, 前述のように北見市美里クトンニコロ沢の国有林内では新しく造成した林道の裸地にも生育している。オオヨモギ, コウゾリナ, クサフジ, ツルヨシ, ア

キノキリンソウ, ケショウヤナギ, メドハギ, ミヤコグサ, モメンツルなどの在来種とメマツヨイグサ, ムシトリナデシコ, ムラサキツメクサ, ナガハグサ, ヤネタビラコ, ヒメスイバ, セイヨウタンポポ, ブタナ, フランスギク, カモガヤ, カラフトホソバハコベ, コゴメバオトギリソウなどの多くの帰化種と混生しており, 人為的な土地の

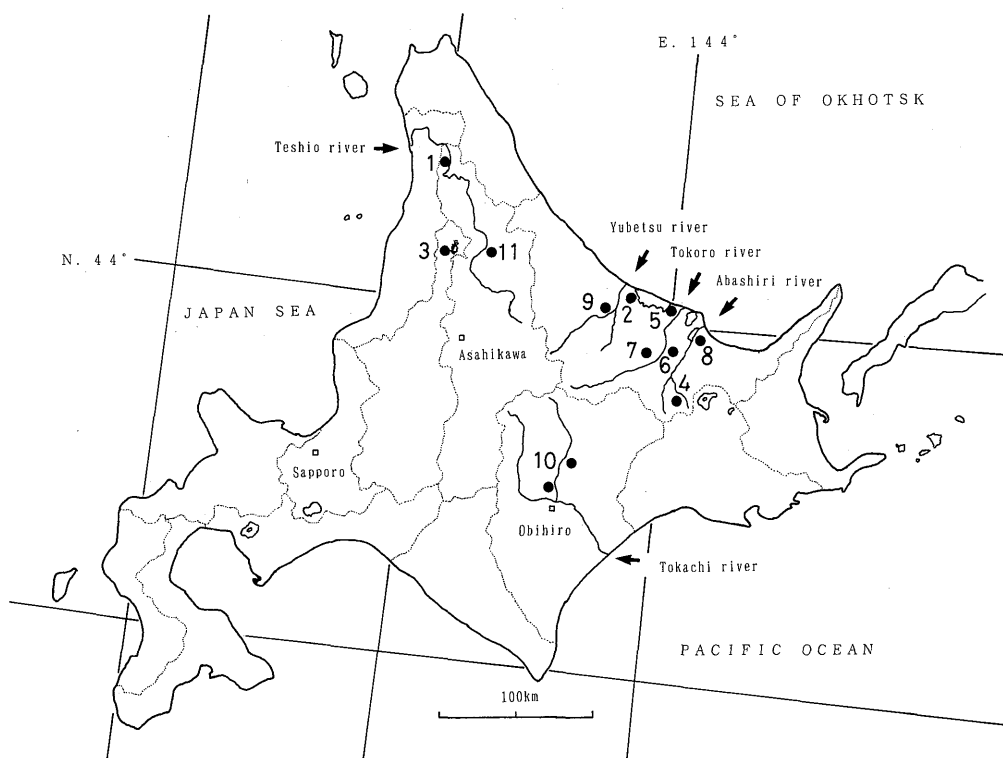


Fig. 3. Distribution of *Astragalus schelichovii* Turcz. in Hokkaido, Japan. The numbers correspond to the locality numbers in Table 1.

攪乱が生じ易い場所に生育していた。河原の生育環境と異なる国有林内の林道では、植樹したトドマツ、タラノキと林床のクマイザサの周辺にまでカラフトモメンヅルが侵入していた。

著者らの観察によると、カラフトモメンヅルは礫地や崩壊地に一時的に侵入して繁茂するが数年後に移動消失する。したがって、生育地のみの保全では保護対策としては不十分であり、その近隣地はもちろん、分布水系流域の護岸・築堤工事には十分な注意を払った保護対策が必要である。

本稿をまとめるにあたり、北海道開拓記念館、北海道大学農学部附属植物園、北網圏北見文化センター博物館部門の各植物標本庫の方々には標本閲覧の便を与えていただいた。特に、北見文化センターの松木恒男氏には生育地などの情報をいただいた。記して感謝の意を表する。

引用文献

- Gontscharov N. F. 1946. *Astragalus* L. In: V. L. Komarov (ed.), *Flora URSS* 12: 436-437.
- 伊藤浩司, 日野間彰, 中井秀樹 (編) 1994. 北海道高等植物目録 3 離弁花類. p. 252. たくぎん総合研究所, 札幌.
- 松井 洋, 林 廣志 1991. 湧別川に生育するカラフトモメンヅルの分布状況と形態的特徴について. 知床博物館研究報告 13: 13-20.
- , ——— 1994. 北海道に生育するカラフトモメンヅルについて. 北方山草 12: 15-23.
- 村田 源 1984. 植物分類雑誌 15. 74. カラフトモメンヅル. 植物分類地理 35: 34-36.
- 我が国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会植物種分科会 (編) 1989. 我が国における保護上重要な植物種の現状. pp. 202, 258, 267. 日本自然保護協会, 世界保護基金日本委員会.
- (^a札幌星園高等学校, ^b遠軽高等学校)